

事務事業チェックシート

事務事業No 549 事業名 警防関係事業

[長期総合計画]

分野別目標	4	誰もが安心して住み続けられる持続可能なまち
政策	5	消防力の充実
施策	2	災害対応力の充実
取組方針	2	常備消防力の強化

事業種別	継続	
事業期間	～	
事業実施の根拠法令	消防組織法	
関連個別計画		
担当課・担当課長 (Tel)	警防課	和佐 茂雄 (428-0119)
関連課		

[事業基本情報]

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・予算区分	会計		一般会計	
	款		消防費	
	項		消防費	
	目		消防費	
	大事業		消防事業	
事項		警防関係事業		

1 事業概要及び実施内容

事業概要	事業目的 (「誰・何」をどういう状態にする) ための事業か) 複雑多様化する災害に対応するための資機材購入及び消防自動車・機械器具を整備充実し、市民の生命、身体、財産を守るため、常に即応できる体制を整備する事業	事業内容 消防活動に必要な器具及び物品の購入 自動車燃料費及び自動車保険料等の支出 消防自動車等の点検及び修繕 消防機械器具の点検及び修繕 各種検査の実施				
	実施内容	平成26年度 消防車両の車検整備及び修繕 消防機械器具の点検及び修繕 消防機械器具の購入	平成27年度 消防車両の車検整備及び修繕 消防機械器具の点検及び修繕 消防機械器具の購入	平成28年度 消防車両の車検整備及び修繕 消防機械器具の点検及び修繕 消防機械器具の購入	平成29年度 消防車両の車検整備及び修繕 消防機械器具の点検及び修繕 消防機械器具の購入	平成30年度 消防車両の車検整備及び修繕 消防機械器具の点検及び修繕 消防機械器具の購入

2 事業コスト

事業費等 (千円)	平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度	
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費	52,133	53,785	54,580	52,259	87,397	84,161	49,028		49,028	
伸び率 (%)	-	-	4.7%	▲2.8%	60.1%	61.0%	▲43.9%	▲100.0%	0.0%	-
人件費	正規職員	8,005	7,668	7,668	8,268	8,268	8,289	8,658	8,658	
	正規職員以外	201	188	188	209	209	211	211	211	
	小計	8,206	7,856	7,856	8,477	8,477	8,498	8,869	8,869	
国庫支出金										
県支出金							3,000			
市債										
その他	500	500								
一般財源 (税等)	51,633	53,285	54,580	52,259	87,397	84,161	46,028		46,028	
所要人数 (人)	正規職員	1.05	1.03	1.03	1.09	1.09	1.09	1.09	1.09	
	正規職員以外	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10	0.1	0.1	0.1	
主な予算内訳	・自動車用燃料費 17,229千円 ・自動車修繕料 16,167千円 ・業務用器具費 4,660千円									

3 目標及び実績

指標名	単位	目標値	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
			実績値	実績値	実績値	実績値	実績値
活動指標 各種災害に対応する車両及び消防機械器具の点検件数	件	目標値	194	195	200	200	200
		実績値	192	191	186		
		達成度 (%)	99.0%	98.0%	93.0%		
活動指標 各種災害に対応する車両及び消防機械器具の修繕件数	件	目標値					
		実績値	217	227	212		
		達成度 (%)					
成果指標	件	目標値					
		実績値					
		達成度 (%)					
成果指標		目標値					
		実績値					
		達成度 (%)					

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか	○	増加している		横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか	○	急いで取り組む		中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか	○	達成している(90%以上)		おおむね達成(70~90%未満)	達成していない(70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	○	一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正	○	負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				○
	現状維持				
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	市民の生命、身体、財産を守るため、消防活動に必要な消防自動車・救急車・機械器具など資機材の購入、点検、修繕整備を行うことで、火災等災害や救急事案に常時即応できる体制を整えておく必要がある。
見直し・改善内容	計画的に資機材の購入、点検、整備を行うことで、修繕費のランニングコストの低減を進めている。